「リハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算導入による心不全 StageB 患者への心臓リハビリテーション導入促進効果」について

洛和会音羽病院リハビリテーション部では、当院のカテーテル、アブレーション入院患者さんを対象に以下の研究を行っております。本研究についてご質問などがございましたら、最後に記載しております「問い合わせ窓口」までご連絡ください。

【研究概要と利用目的】

心不全を発症する前段階である「StageB」から予防的に関わることが重要です。本研究では、リハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算の導入を契機に構築した、病棟看護師・理学療法士・管理栄養士による早期介入システムが、診療の流れや外来心臓リハビリテーションの導入率に与える影響を明らかにします。今後の心不全予防と多職種連携の改善に役立てることを目的とします。

【研究期間】 対象は、導入前の 2025 年 8 月～2026 年 8 月、または導入後の 2026 年 6 月～2027 年 6 月に当院へ入院した、心房細動アブレーション患者さんおよび狭心症カテーテル治療患者。

【個人情報保護の方法】

匿名化する。匿名化の方法は対応表を作成し、個人を直ちには識別できないような匿名化を行う。

【研究への試料・データ提供による利益と不利益】

利益：研究成果が、StageB 患者さんへの心不全予防および外来心臓リハビリテーション導入体制の改善に役立つ可能性があります。

不利益：既存の診療情報のみを利用するため、新たな身体的負担はありません。

【研究終了後のデータの取り扱いについて】

本研究に関する資料・情報は、パスワード設定されたパソコンと USB、または鍵のついた保管庫で保管します。保管する期間は、研究終了日から 5 年間または研究結果の報告日から 3 年間のいずれか遅い方とします。

【研究成果の発表について】

本研究の成果が論文や学会で公表されることがありますが、その場合も第三者に患者さんに個人情報が明らかにならないように厳重に守られます。

【研究への試料・データ使用の拒否と中止について】

本研究への試料やデータの提供を拒否・中止したい場合には下記の「問い合わせ窓口」にご連絡ください。拒否や中止のご希望があった場合、患者さんの試料・データを本研究に使用することはありません。しかし、すでに研究成果を論文などで発表していた場合には、結果を破棄できない場合もあります。また、拒否や中止を希望されても何ら不利益を受けることはありません。

【問い合わせ窓口】

本研究に関するご質問などがある場合には、遠慮なく下記の連絡先にお問合わせください。

住所：〒607-8062　京都市山科区音羽珍事町 2

病院名・部署：洛和会音羽病院リハビリテーション部　　研究責任者（担当者）：西村亮汰

電話番号：075（593）4111　　e-mail　　nishimura-ryota@rakuwa.or.jp